

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		くまもと芦北通園センター		公表日		令和 8年 3月 31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10/10 100%	0/10 0%		生活介護のご利用者と同じ空間で過ごすため、スペースが狭い場合もある	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9/10 90%	1/10 10%		生活介護・放デイ・児童と利用者が様々で、対応が難しい場合もある	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9/10 90%	1/10 10%	フロアとトイレなどに段差は無く、バリアフリーとなっている。重度の障害がある方は、高い場所で安全にすごせる様にしている		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9/10 90%	1/10 10%	洗面台は、踏み台を使用して児童が使用できるように対応	児童に対して、トイレや手洗いの高さが成人対応である	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2/10 20%	8/10 80%	主にワンフロアのみで使用で、必要に応じてスクリーンで区分けしている	個室はあるが、使用していない フロアの区分けが難しい場合もある	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9/10 90%	1/10 10%			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10/10 100%	0/10 0%			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10/10 100%	0/10 0%			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10/10 100%	0/10 0%	第三者評価実施なし 指導監査や集団指導の内容を確認し改善が必要な項目があれば検討している		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9/10 90%	1/10 10%	法人内または事業所・部署間での勉強会などを実施		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7/10 70%	3/10 30%	5領域とのつながりを明確にしたプログラムを作成・公表している		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10/10 100%	0/10 0%			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10/10 100%	0/10 0%			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10/10 100%	0/10 0%	計画書見直しの際は、スタッフ全員で支援会議を実施		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7/10 70%	3/10 30%		アセスメントが難しい場合もある	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8/10 80%	2/10 20%			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9/10 90%	1/10 10%		主に保育士が主となって活動予定を立案	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8/10 80%	2/10 20%	前年度の活動内容を参考にしながら、季節の行事なども考慮した活動プログラムを計画・工夫している	利用者の年齢差や障害の程度に差があり、対応が難しい部分もある	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7/10 70%	3/10 30%		発達状況に差があるため、支援が難しい部分もある
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9/10 90%	1/10 10%	当日の利用者数が少なくなり、個別での対応が可能な時は、個別の取り組みへ内容を変更して実施	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9/10 90%	1/10 10%	当日の送迎終了後、スタッフが集まり終礼を行いながら、気づいた点などを伝えあい共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9/10 90%	1/10 10%		生活介護のご利用者と同じ時間を過ごす事が多いため、個性を見出すことが難しいこともある
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9/10 90%	1/10 10%		生活介護のご利用者と同じ時間を過ごす事が多いため、個性を見出すことが難しいこともある
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10/10 100%	0/10 0%	会議には、基本的に児童発達支援管理責任者が出席しているが、難しい場合はご利用者の個人担当が出席している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7/10 70%	3/10 30%	併設の施設に外来があり、緊急時は医師の協力を得られる体制を整えている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7/10 70%	3/10 30%		インクルージョンの推進を図っているが、充分でないと思うことがある
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7/10 70%	3/10 30%		就学前の会議などを行っている
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	7/10 70%	3/10 30%	圏域内の事業所に在籍している児発管がグループラインにて繋がっている	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	7/10 70%	3/10 30%		職員配置などで、外部研修など参加が難しい面もある
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	6/10 60%	4/10 40%	児発管が中心となって会議などへ参加している	
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	9/10 90%	1/10 10%		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3/10 30%	7/10 70%		感染症対策などにより難しい
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10/10 100%	0/10 0%	連絡帳の活用や送迎時の伝達を通して、保護者との信頼関係を構築し、情報の共有と共通理解を持っている	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4/10 40%	6/10 60%		ペアレントトレーニングは行っていない(実施の機会が無い)	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9/10 90%	1/10 10%		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9/10 90%	1/10 10%	家族に要望を聞き取る際は、要望書を活用した聞き取りを実施	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9/10 90%	1/10 10%	送迎時や保護者の迎えがあった際に実施	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8/10 80%	2/10 20%		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8/10 80%	2/10 20%	ご利用者および家族みんなで参加できる行事を計画し、保護者の会の総会も同時に実施	きょうだい同士での交流はまだできていない
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10/10 100%	0/10 0%		相談・申入れはほとんど無い
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9/10 90%	1/10 10%	年3～4回の季刊誌（新聞）を発行。保護者の会とのグループラインで繋がっており、活動で撮影した写真などをアップしている	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10/10 100%	0/10 0%	十分に対応できている	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10/10 100%	0/10 0%		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5/10 50%	5/10 50%		コロナ禍により、地域への参加は中止となっている
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10/10 100%	0/10 0%	送迎時に関する緊急時マニュアルは通園センター独自にあり、その他のマニュアルは母体と共通のマニュアルがある	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9/10 90%	1/10 10%	年1回、避難訓練を実施 年1回、送迎時の緊急対応の勉強会と訓練を実施	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8/10 80%	2/10 20%	当センター利用される場合は、必ず当センターの外來受診を受けて頂き、てんかん発作がある方はスタッフ間で周知している	予防接種を受けたあとの報告や服薬が変更になった場合などの報告が完全ではない。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9/10 90%	1/10 10%	当センター外來受診時に、医師によるアレルギーについて聞き取り、食事箋やアセスメントシートにアレルギーについてを記載	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10/10 100%	0/10 0%	支援計画作成の際に、安全対策について検討している	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9/10 90%	1/10 10%	安全対策を支援計画に記載し家族へ承認して頂いている	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10/10 100%	0/10 0%	ヒヤリハットがあった場合は、当日のうちにスタッフ間で話し合いを実施	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10/10 100%	0/10 0%	支援計画についての話し合いの際に、身体拘束などについての検討事項は無いか確認している		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10/10 100%	0/10 0%	現在、身体拘束が必要な場面などは無し		